

## 経済学部・国際経済学科 丸山 裕大

私はブルガリアのヴェリコタルノヴォ大学に約半年間留学していました。留学の目標としては自身の英語能力の向上と、何より、日本人のいない環境でどれだけ自分の力で0から道を開拓できるか試してみたかったからです。タルノヴォ大学には1から3番までの学生寮があり、1, 2番寮はメインキャンパスから近く、他のエラスムスの学生も住んでいたので私は当初この寮に入れると信じて疑っていませんでした。しかしながら実際は3番寮に入れられ、そこはお世辞にも良い環境とは言えませんでした。



しかし今振り返ってみればこの3番寮に入ったことで団太さとハングリーさが養われました。まず、寮長や店の店員が英語を話すことができないので生活していくために現地の学生と友達になり、翻訳してもらわなければいけません。また、ブルガリア人の学生しか住んでいない寮なので彼らの会話は殆どブルガリア語という辛い環境でしたが、黙って挫けるわけにはいかないのでなんとかして自分から英語で話題を作ってグループの中に入っていくかなければなりませんでした。幸い彼らも私をよく遊びにさそってくれたので私は基本的に拒否せず何でも試してみました。その結果交友関係が大きく広がっていき、英語で話す機会も多くなりました。こうして最終的には他の寮に入っていたエラスムスや他のブルガリア人学生とも密に交流できて、上述した「自分の力で道を開拓する」という目標は達成できたと自負しています。

私が学んだもう一つのこととは、英語はただのツールであってそれが全てではないということです。我々は英語を話せるようになりたいと思ったら1つでも多くの英単語や文法を勉強しがちですがそれらは何一つ重要ではありません。「如何に自分のこと、日本のことを探っているか」これに尽きます。自分の考え方や、日本のこと日本語で説明できない人が英語

で何か喋れると思わないことです。何よりも日本人として恥ずかしく、情けない思いをすることになります。ですからこれから留学に行きたいと考えている学生には是非英語の勉強よりも日本の政治や文化など何でもいいのできちんと説明できるようになってもらいたいです。

最後に、日本は世界に誇れる素晴らしい文化を持っている国です。その事実は海外に飛び出て他の国の文化を体験してみなければ実感しにくいし、自身の価値観は変わることはありません。留学を通して自分が成長していくのを必ず実感できるはずなので留学に興味がある学生は悩むよりもまず動いてみるべきだと思います。

